



ほのぼのせや

承認●瀬谷区第24号

<http://seyaku-shakyo.jp/>

平成30年度 瀬谷区ふれあい助成金 131団体に総額9,854,000円を助成しました。

この助成金は、みなさまからの賛助会費・共同募金・地域福祉推進基金などを活用して、地域福祉の活動を応援しているものです。(単位:円)

I. 要援者支援区分		II. 障害児者支援区分	
街のつどいの広場 ほっとカフェ	400,000	ほのぼのサロン	80,000
はつらつクラブ	150,000	本郷サロン	80,000
第一サロン	100,000	モボ・モガ 喫茶	80,000
マークサポート支えあい	100,000	ゆうぎサロン	80,000
音楽のたまたまほこ	120,000	ゆうゆうサロン富士見台	80,000
喫茶たんらん	120,000	薬茶金曜会	80,000
健康長寿サロンピンコロ会	120,000	相沢ふれあいサロンI	70,000
コスモサロン	120,000	喫茶ハンパ	70,000
サロンよってってA	120,000	薬者ハイソ自治会 楽老サロン	70,000
ここにご会	120,000	サロン旭台	60,000
ユートピアすこやかサロン	95,000	ふれあいサロン左馬	60,000
サロンよってってB	70,000	ふれあいサロン下瀬谷	45,000
ひるラジ楽老会	40,000	サロン・スマイル	40,000
健康体操やまゆり会	35,000	サロン「なかよし」	40,000
ふれあい健康サロン	30,000	ハッピーダンス	40,000
相沢ふれあいサロンII	80,000	ほっと三ツ境	40,000
阿久和北部連合さくらんぼの会	80,000	瀬谷どんぐりの会	34,000
阿久和生利ハビリはまなすの会	80,000	サポートクラブ ニュータウン	16,000
あやめ会	80,000	だれでもサロン一福	16,000
歌声ラウンジ宮沢	80,000	認知症カフェ カフェド・せや	50,000
おとなり会	80,000	おさそい会	45,000
お仲間サロンひなたほっこ	80,000	うたごえひろば	20,000
カフェすずらん	80,000	下瀬谷こども食堂実施委員会	300,000
北新サロン	80,000	このは会	80,000
元気倶楽部	80,000	宮沢ひまわり給食会	80,000
サロン「北の宿」	80,000	ラッキー	80,000
サロンスプリングガーデン南瀬谷	80,000	相沢ふれあい食事会	50,000
サロンふらっと宮沢	80,000	阿久和南部高齢者食事会	50,000
サロン細谷戸運営委員会	80,000	阿久和北部 子ども食堂 大カレーパーティー	50,000
サロン楽々	80,000	阿久和北部お楽しみ食事会	50,000
南部にここサロン	80,000	すみれ会	50,000
ひなた山サロン井戸端	80,000	瀬谷第一あじさい会	50,000
ふれあい音楽塾	80,000	瀬谷北部あじさい会	50,000
ほっとサロンゆうあい	80,000	本郷あじさい会	50,000
		むつみ会	50,000
		いちごクラブ	80,000
		ひよこサロン	80,000
		ゆうスロー	80,000
		あくわキッズみなみ	50,000
		横浜にし・おやご劇場わいわい	50,000
		子育てサロンえむ	40,000
		ありんこくらぶ	20,000
		グループ・男の手貨します	160,000
		瀬谷第四地区女性のボランティア	160,000
		はあとの会	300,000
		配食サービス「たんぼほの会」	300,000
		配食木曜の会	300,000
		宮沢配食部会	90,000
		配食サービスいなほ会	240,000
		配食サービスかしわ会	240,000
		配食サービス火曜の会	240,000
		特定非営利活動法人 せや	250,000
		原っぱ親の会	36,000
		コアラの会	60,000
		Star Dust Club	60,000
		和太鼓 ひびき	60,000
		ジャンプ	54,000
		ふるっぴ	40,000
		あじさいの会	60,000
		瀬谷区視覚障害者福祉協会	60,000
		瀬谷区聴覚障害者協会	60,000
		瀬谷区障害者団体連絡協議会	40,000
		瀬谷区肢体障害者福祉協会	39,000
		三ツ境MAX	60,000
		TUKIICHI	60,000
		ほっぺ	60,000
		瀬谷区手話サークル さかひの会	50,000
		瀬谷区手話サークル 杉の会	50,000
		音声訳グループ つくしの会	50,000
		アイの会	15,000
		III. 福祉のまちづくり区分	
		国際交流Seya	40,000
		にほんごせや	40,000
		かたり部「わ」の会	40,000
		楽老健児守り隊	40,000
		交流フェスティバル実行委員会	30,000
		瀬谷発達障害理解啓発グループ antmama	40,000
		瀬谷区ふれあい食事連絡会	40,000
		ふれあいネットワーク	40,000
		キティメイト	40,000
		子育てサークル たんぼほ	40,000
		すくすく	40,000
		ピンコロ	18,000
		カスターネット	18,000
		子育てサークル だるまの会	18,000
		NPO法人 楽竹会	40,000
		カフェスマイル	40,000
		いいき健康本郷四丁目ランドゴルフクラブ	40,000
		瀬谷相撲甚句会	40,000
		横浜西アコーデオニア愛好会	40,000
		リ・ブックセヤ	40,000
		ウクレレ友遊会	30,000
		IV. 健康増進区分	
		北新健康麻雀	10,000
		瀬谷区健康本郷四丁目ランドゴルフクラブ	10,000
		ニッポン第二カローリング	10,000
		町ぐるみ健康づくりの会	10,000
		ユウカリの会	10,000
		ユートピアさわやかゲームクラブ	10,000

企業の社会(地域)貢献活動を紹介します



セブン-イレブン・ジャパンによる寄贈商品の配分会の様子

瀬谷区ふれあい助成金 活動団体紹介



瀬谷相撲甚句会

平成29年に瀬谷区民有志で立ち上げた団体で、高齢者施設、ケアプラザ等を訪問し、相撲甚句を披露・指導しています。

相撲甚句は、観客も合いの手のために大きな声を出すので、高齢者の健康増進に繋がります。評判を聞いて、近隣区の施設からも依頼が来ています。また、相撲が好きな方が多いため、相撲全般について語り合って盛り上がっています。瀬谷の歴史や名所を盛り込んだ「瀬谷名所甚句」も作詞し、瀬谷のPRにも努めています。

7月7日の七夕灯籠祭り(長屋門公園)にもステージに立ち相撲甚句を披露、「あ〜、どすこい、どすこい」という合いの手が会場に響きました。

活動場所●瀬谷区内
稽古日●第2、第4土曜日

大江会長より

助成金を受けるのは初めてで、本当にありがとうございます。大切にさせていただき、活動をより広げていきたいと思っております。



相撲甚句って何?

相撲甚句とは、大相撲の地方巡業などで、力士が土俵上で唄うもの。江戸時代から続く伝統芸能で、七五調の歌に「どすこい、どすこい」という合いの手が入る。

せやまる・ふれあい館

横浜市多機能拠点まち
二つ橋小学校
シャローム三育保育園
公園
瀬谷

●アクセス

相鉄本線「三ツ境駅」下車 徒歩約12分
または、三ツ境駅北口より相鉄バスにて「中丸」バス停下車 徒歩約5分

●駐車場

26台 ※障害者用駐車場2台
※台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

TSUTAYA バスターミナル
歩道橋 タクシー乗り場
相鉄ライフ
三ツ境駅

開所時間

■横浜市瀬谷区社会福祉協議会 月～金曜日 / 8:45～17:15

■瀬谷区ボランティアセンター 月～土曜日 / 9:00～17:00

■瀬谷区福祉保健活動拠点「パートナーせや」 月～土曜日 / 9:00～21:00 日曜日・祝日 / 9:00～17:00(年末年始を除く)

編集後記

暑い夏でした。彼岸も過ぎてやっと落ち着きを取り戻していますが、日本の気候が亜熱帯化していると思うほどでした。その暑い夏に一服の涼風を届けてくれた人がいました。尾島春夫さんです。ボランティアを体現しているその姿に胸を打たれた人も少なくないはず。掛けた情けは水に流し、受けた恩は石に刻めという座右の銘も深い。(水村委員)

広報委員会

委員長●遠山 丈晴(瀬谷第四地区社協)
副委員長●紅林 千津子(相沢地区民児協)
水村 明(瀬谷第一地区社協) / 飯塚 陵子(ワーカーズわくわく)
八木澤 恵奈(瀬谷区発達障害理解啓発グループ ant mama)

社会(地域)貢献活動って何?

企業が倫理的観点から事業活動を通じて、自主的に社会の課題に取り組み、直接の対価を求めることなく、これまで蓄積してきた人材、技術、ノウハウ、情報等を活用して、その解決に貢献することです。

(引用:企業の社会(地域)貢献活動ノウハウ集)

社会状況

社会的孤立等を背景とした課題は、制度では対応できず、把握や解決が難しいものが多く、具体的なしくみづくりが必要です。**そのしくみの一つとして「食支援」があります。**

そこで「社協」としては...

「食支援」を通して生活課題を把握し、地域住民、企業、行政等の関係機関と連携、協力し、解決を目指します。その積み重ねから、地域での支援のしくみづくりを進めます。

取組の事例 セブン-イレブン・ジャパンによる商品寄贈

寄贈物品を活かした地域活動の活性化(企業や団体等との連携づくり・強化)

横浜市と横浜市社会福祉協議会、株式会社セブン-イレブン・ジャパンは、店舗の閉店や改装に伴う在庫商品を、セブン-イレブンから横浜市社協に寄贈する取組について協定を締結しました。寄贈商品は、高齢者、障害者、子ども、生活困窮者等の支援を行っている団体・施設に配分し、地域福祉の推進を図っています。

瀬谷区社協も5回商品の寄贈を受け、区内の地域活動団体、施設へ配分を行いました。

セブン-イレブン・ジャパンの寄附への想い

企業として、フードロス削減への期待に応えたいことと、地域全体の活性化に貢献することで、地域からの信頼に応えたいと考え、この取組を始めました。寄附商品の提供から配達までは、地域ごとの物流網を活かすことで円滑な運用ができ、環境負荷にも配慮することができます。

寄附商品の提供にあたり、役立つの心配していた商品もありましたが、上手く活用していただけていることがわかりました。この取組を継続して、社会や地域課題の改善につながればいいと思います。



配分を受けた団体からのメッセージ

- ★ラジオ体操参加者から喜ばれました。
- ★活動予算の厳しい中で各事業運営を行っており、このような支援は大変ありがたく、継続していく上での励みになります。
- ★いつもと違うおやつで喜ばれました。
- ★調味料やお茶を参加者全員とおしくいいただいております。



子どもは地域の宝物



現在、「子どもの居場所づくり」の機運が全国各地で盛り上がっています。瀬谷区内にも、こども食堂・学習支援等、地域に子どもの居場所が増えてきています。

子どもたちにとって、家庭や学校以外の場所に安心できる居場所があることは、いざという時に頼れる場所や人が増えることでもあります。また、親や先生以外の大人と関わることは貴重な経験であり、大切です。子どもの居場所が地域にあることは、温かな地域になる大きな力となるはずで。

子どもの成長と子育てを支援することは、一人一人の子どもや家族のしあわせにつながるだけでなく、瀬谷の未来をつくることに他なりません。

皆様の温かい見守り・支援をよろしくお願いいたします。



◆瀬谷区内の子どもの居場所

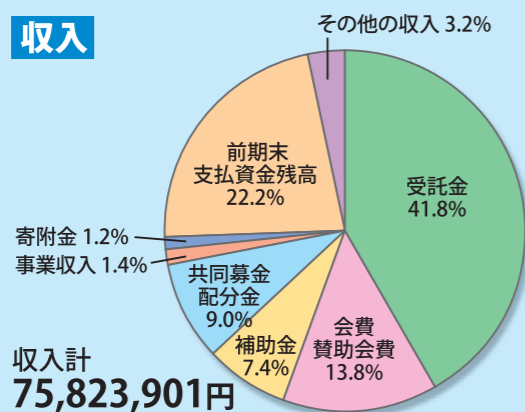
名称	実施場所	内容	開催日
下瀬谷こども食堂	下瀬谷地域ケアプラザ (下瀬谷2丁目)	子ども限定ではなく、一人で食事をする人を主な対象として、みんなで食事をしています。	毎週水曜日
大カレーパーティー	向原第二公園見守り合い広場 (阿久和東1丁目)	皆でカレーを食べ、皆で公園で遊びます。毎回200名も集まる大パーティーです。	偶数月第4日曜日
よんたくん広場	せやまる・ふれあい館 (二ツ橋町)	小学生を対象に、様々なイベントを行っています。皆でカレーを食べるのが恒例です。	不定期 (年5回)
笑!和!輪!クラブ (わわわクラブ)	阿久和地域ケアプラザ (阿久和南2丁目)	小・中学生がだれでも自由に遊べるスペースです。皆でゲームをすることもあります。	月1回 (不定期)
ほかほかプラザ 学習支援クラブ	ほかほかプラザ (阿久和南4丁目)	ボランティアの先生が勉強を教えてください。宿題をしたり、ドリルを解いたりしています。	小学生:毎週金曜日 中学生:毎週水・金曜日
見守りの家 学習支援	見守りの家 (阿久和東1丁目)	ボランティアの先生が勉強を教えてください。宿題をしたりしています。	毎月第2火曜日
ラッキー	南台ハイツB集会所 (南台2丁目)	地域の子どもたちが安心して過ごせる居場所です。毎回、手作りの食事を全員で食べています。	毎月第3月曜日

※2018年8月現在、瀬谷区社協で把握しているものです。参加に条件があったり、事前申込が必要な場合があります。詳細については、瀬谷区社協にお問合せください。

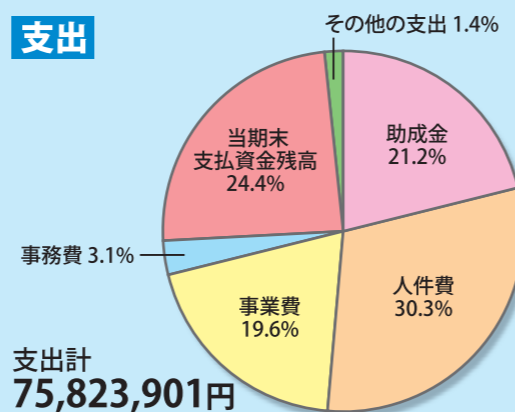
平成29年度 瀬谷区社協 決算報告

瀬谷区社協では皆様からのご協力を受けて、様々な事業を展開しています。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

収入



支出



社協からのお知らせ

★★ガイドボランティア大募集!!★★

瀬谷区移動情報センター(障害者の方の外出相談窓口)では、ガイドボランティアを募集しています。依頼を受けて活動をしていただくと、1回につき500円の奨励金が支払われます。

Q “ガイドボランティア”ってなんですか?

A 移動に困難を抱える障害者の方の外出に付添うボランティアです。

Q 特別な資格が必要なの?

A 資格は必要ありません。外出にお困りの方の力になりたい・ご家族の助けになりたいという気持ちがあり、18歳以上の方であれば、どなたでも登録できます。

Q 障害者の方の付添いは、自分のできるか不安です。

A 障害の理解を深める為の様々な研修・講座を開催し、ボランティアさんのスキルアップにも努めています。また、活動前後に生じる不安にも、コーディネーターが丁寧に相談にのりフォローいたします。

お問合せ ● 社会福祉法人 横浜市瀬谷区社会福祉協議会 移動情報センター
TEL:045(361)2202 FAX:045(361)2328

まずお気軽にお問合せ・ご来所ください

現在登録者
32名が活躍中!
まだまだ募集中!!



来年は瀬谷区制50周年

瀬谷区は、昭和44(1969)年10月1日に戸塚区から分区して、誕生しました。そして2019年には、区制50周年を迎えます。

報告その1 東日本復興支援 ボランティアバス報告 「被災地を忘れない、震災を風化させない」

日程●平成30年7月27日(金)～7月29日(日)2泊3日(車中1泊) 参加者●43名(一般9名・高校生29名・スタッフ5名)

今年で8年目



地元の釜石高校の生徒さんにも協力していただいた出店(横浜名物ソウマイやかき水等)が好評でした

ボランティアバスも今年で8年目を迎えました。毎年訪問している釜石市でも、復興公営住宅が整備されてきて仮設住宅で生活されている方も少なくなってきました。一見復興は進んでいるようですが、移り住んだ先でのコミュニティづくり等課題もまだまだ多く、現地の方々による「忘れないで」という想いは強いです。

今回、地域で交流を深めていただくために「ふれあい夏まつり」を開催し、嬉石復興住宅の皆さんと近隣戸建住宅の方をお招きしました。あいにくの雨でしたが、大勢の方が集まり、楽しいひと時を過ごしました。

「入居してからこういった催しは初めてで、楽しかった」ととても喜んでいただくことができました。



嬉石復興住宅の外観 周辺はまだ復興途中という感じてした 食事の合間のスカッとゴルフ

報告その2 第22回ボランティアのつどい ボランティア祭り

3月17日(土)せやまる・ふれあい館で開催されました。「中学生・高校生ボランティア活動報告会」、「釜石からのメッセージ～映像で振り返る釜石の歩み～」や点字・音声訳や手芸体験コーナー、車いすの試乗、カレー、タコス等の販売もあり、ボランティア団体の活動発表の場となっています。



報告その3 平成30年度 第3期瀬谷区地域福祉保健計画 地区別計画推進研修会

基本目標「健康・長寿をめざす地域づくり」について

日程●平成30年7月20日(金) 14:00～16:00
会場●瀬谷区役所5階大会議室 参加者●64名
テーマ●「地域ですすめる健康づくり」
講師●日本体育大学 体育学部 健康学科教授 横山 順一 氏

＜講義のポイント＞
●自分が健康だと思つ「主観的健康観」がその人の健康に大きく影響する
●高齢期に向けて「衰えていく能力(動作性能力)」と「衰えない能力(言語性能力)」がある

●健康長寿に向けて、他者とのつながりが大切であり、地域をあげての健康づくりが重要である

講義後、グループに分かれて、「健康・長寿をめざす活動を広めるための工夫について」意見交換を行いました。

●研修を受けての感想●

★高齢者時代に向けての対策、企画する側の心得など参考になりました。
★高齢期に対する考え方について、認識を高めることができました。等